



「お客さまに美しくなってほしい」、「笑顔になってほしい」、「良い気分になってほしい」、そんな純粋な思いで夜遅くまで練習し、日々夢に向かって努力している美容師だからこそ、その夢は叶って良いはず！
この連載では、数々の金融機関での経験をもとにした、マネープランによる「夢実現コンサルタント」として活躍中の占部邦素さんが、平均的な美容師さんでも「将来自分のサロンを持てるようになる」までのお金の貯め方、準備の仕方、考え方を提案していきます。
夢を叶えるお金の貯め方、SnipStyleと一緒に身につけていきませんか？



占部邦素さん (KAMコンサルティング)
都市銀行・外資系金融機関に15年間勤務し、常にNo.1の営業成績で「ミスターパーフェクト」の異名をとる。その後独立し、金融専門雑誌を始め、様々なメディアのマネーコラム連載、企業内研修で活躍。誰にでもわかりやすい説明に定評があり、夢を実現するためのマネープランの大切さを説いている。
<http://kam-consulting.co.jp/>



「年収250万円」の スタイリストが 35歳でサロンを持てる！ 「ユメカナエタル！」 今日から！ YK宣言！

『お金』について考えてみよう

「自分のサロンなんてまだ先」と思っているあなた、技術が日々の地道な訓練でしか習得できないのと同じように、**お金もある日突然、目の前にドンとは生まれません。**アシスタント時代はともかくとして、収入が上がりに始めるスタイリストになる頃から、少しでも今回のマネープランを実践すれば、将来サロンを持つ土台を確保できます。逆にどんなに技術やサービスに自信があっても、**お金にルーズな人は絶対に自分のサロンは持てません。**まずは少しずつでも、お金について考え始めることが大切なのです。

美容師のお金の現実

例えば入社2年目のアシスタントAさん。やっと仕事には慣れてきたけど、朝から晩まで忙しく食事もままならない。お給料は15万円そこそこ。でも家賃で5万円、光熱費で1万円、食費に2万円、社会保険や税金に2万円、ウィッグ代に1万円、美容や服飾代に3万円、急な出費に1万円。15万円が毎月見事に消えていくという計算です。足りな

いセミナー代や勉強会代、ハサミ代は借金。こんな状況でどうやって貯蓄するの？という声が聞かえてきそうです。

アシスタント、スタイリストさんに聞くと、本当に多くの方が「貯蓄をしていない」と言います。これは先輩からの教える「20代の内は自分のためにどんどんお金を使うべき」という言葉が独り歩きをし、優先順位もなくどんどんお金を使ってしまっていることが大きな理由です。中にはお金の原因で美容師を辞める人もいます。これはとても悲しい現実です。

確かに収入的に「貯蓄をたくても出来ない」のは本音でしょう。アシスタントの内は計画的な貯蓄は厳しいかもしれません。しかし経験を重ね、年収がそれなりに上がった30代のスタイリストでさえ、貯蓄は無し、むしろカードローンもあるという人も多くいます。その一番の原因は、**そもそも貯蓄する習慣が無い**ことです。親からお金について教えられた記憶はせいぜい「無駄遣いはするな」程度のもの。何が無駄で、何が無駄でないかもはっきりしないまま就職。お金についての知識がないのも無理はありません。だからと過去を恨んでも始まりません。

お金が無ければ夢に近づけない

皆さんの大半は「お金が目的」で美容師になった訳では無いと思います。けれど人を綺麗にしたい、自分の技術を磨きたいと思ったら、「**お金が無い**」とその道はだいぶ遠回りになります。先輩の教える通り、20代の内は自分のためにどんどんお金を使うべきです。練習用のウィッグもお金が無ければ思うように買えず、仲間との実力差はどんどん開きます。「これぞ」という研修会やセミナーもお金を使わなければ参加出来ません。海外研修のチャンスもお金が無ければ活かせません。作品を撮ろうと思ってもモデルや衣装、カメラマン代など、使えるお金が無いと、作品はアイデアや斬新さに頼るしかなくなります。お**金が無いことが、そのまま実力の差になる可能性もあります。**

「使っべき」といっても全てに使ってはいけません。お金がいくらあっても足りません。いかにお金の使い道に優先順位をつけるか。節約すべき時、使っべき時を見極めて、どの目的のために有効に使っのかを考え、そして実践する必要があります。美容の技術は、いざというときに使える**貯蓄があることで、さらに磨かれていくもの**なのです。

今この瞬間から、**お金の貯め方の基本を覚えていけば良い**のです。
美容師の仕事は、優れたカット技術とサービス精神を身につけることが成功の早道でしょう。しかしそれがあれば確実に成功するかといえそうではない。忘れてはならない絶対的に必要なものがある。それは「**お金を理解している**」ことです。
美容師の仕事は、優れたカット技術とサービス精神を身につけることが成功の早道でしょう。しかしそれがあれば確実に成功するかといえそうではない。忘れてはならない絶対的に必要なものがある。それは「**お金を理解している**」ことです。



イラスト/長島未衣子